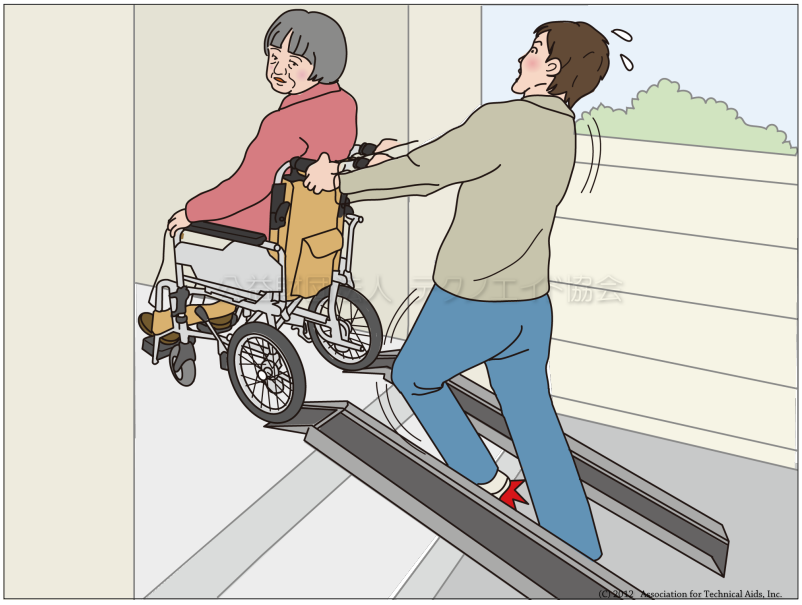
Case：149

階段を踏み外し、転倒しそうになる

場面の説明

足元をよく見ずに階段を下りたため、足を踏み外して転倒しそうになった



利用シーン	移動 階段の昇り降り
主な利用場所	階段 玄関 段差・縁石
介護保険の種目	スロープ
分類コード(CCTA95)	183015(携帯用スロープ)
介護テクノロジー	―
二次元バーコード	

解説

この事例のようなレール形のスロープで起こり易い事例です。スロープで段差を下りる場合、介助者は後ろ向きになることが基本となりますが、レール形のスロープでは、足元が狭くまた見づらいために注意が必要です。車いすの手押しハンドルにブレーキが付いていると、介助にも少し余裕が生まれます。介助力と段差の高さに合わせ、スロープの形態や車いすの機能を選定しましょう。

参考要因

人：スロープにタイヤを乗せることに気をとられていた
人：足元をよく見ていなかった
モノ：短めのスロープで、角度が急だった
環境：敷地の関係で、緩やかな長めのスロープを利用できなかった

Copyright 2000-2012 Association for Technical Aids, Inc. All rights reserved.